

LIXIL サイクルポートFG-D型

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 設置場所の確認をしてください。
- 施工場所の気象条件(風、雪など)に合った商品かどうか確認してください。
- 建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が製品内(屋根・パネルなどで囲んだ内部)にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒や塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
- 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
- 給排水管などの地下埋設物に影響を与えないでください。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。



ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 風当たりの強い場所では、駐輪場の周囲を囲わないようにしてください。風が抜けなくなり破損のおそれがあります。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、右記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
- 締付けすぎない（被締結部材の破壊、ねじが塑性伸びを起こさない状態）ようにしてください。
- AC100Vの電線の埋設工事、配線工事に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。

ボルト・ネジ締付けトルク

ネジ種類	締付けトルク (N・m)	備考
M12ボルト・ナット	15	
M10ボルト・ナット	12	
M8ボルト・ナット	6	
φ4ネジ	2.2	ドリル

🔑ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 堅樋の端末以降の排水については、当社供給範囲外になっていきますので、施工店様または施主様で手配してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず栗石を敷いてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

🔑ポイント

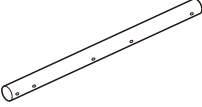
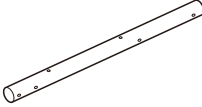
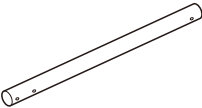
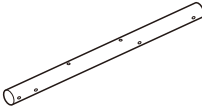
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

INDEX

梱包明細表	3
1. 各部名称	7
2. 基本寸法図	8
3. 割付図	10
4. 母屋金具の取付け	11
5. 柱と梁の取付け	12
6. 母屋の取付け	14
7. 屋根材の取付け	15
8. 前枠の取付けと注意シールの貼付け	16
9. 雨樋の取付け	17
10. 竪樋の取付け	18
11. 車止めの取付け オプション	19
12. 背側面パネルの取付け	20
13. 照明の取付け オプション	24


■ 梱包明細表

【1】柱

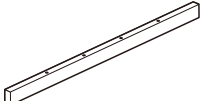
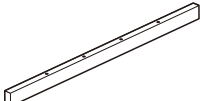
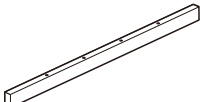
名 称	略 図	員 数			
		前端部	後端部	前中間	後中間
前端部柱(φ60.5、L=2466)		1	—	—	—
後端部柱(φ60.5、L=2048)		—	1	—	—
前中間柱(φ60.5、L=2466)		—	—	1	—
後中間柱(φ60.5、L=2048)		—	—	—	1

■ 梱包明細表(つづき)



【2】 梁

名 称	略 図	員 数
梁		1


【3】 母屋

名 称	略 図	員 数		
		単 独	端 部	連 棟
母屋(L=2744)		1	—	—
母屋(L=2583)		—	1	—
母屋(L=2422)		—	—	1

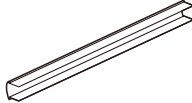
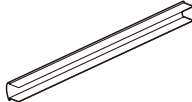
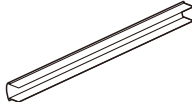
【4】 柱梁金具セット

名 称	略 図	員 数
柱梁ジョイントA		2
柱梁ジョイントB		2

【5】 屋根材

名 称	略 図	員 数		
		3枚入	4枚入	5枚入
屋根材		3	4	5

【6】 前枠

名 称	略 図	員 数		
		単 独	端 部	連 棟
前枠(L=2784)		1	—	—
前枠(L=2604)		—	1	—
前枠(L=2424)		—	—	1

【7】雨樋

名 称	略 図	員 数		
		単 独	端 部	連 棟
雨樋(L=2749)		1	—	—
雨樋(L=2588)		—	1	—
雨樋(L=2424)		—	—	1

【8】雨樋ジョイント

名 称	略 図	員 数
雨樋ジョイント		1

【9】雨樋受け金具

名 称	略 図	員 数
雨樋受け金具		3

【10】ボルトセット

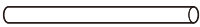

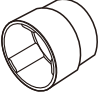

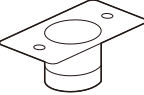


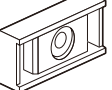
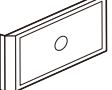
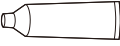



名 称	略 図	員 数	
		D端部	D連棟
母屋金具		6	3
母屋キャップ		6	—
アンカー棒		4	2
雪下ろしシール		1	—
ルーフピース		18	18
前枠キャップ		2	—
端部トリム		2	—
めかくしキャップ		4	2

【10】ボルトセット (つづき)

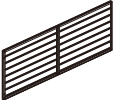
名 称	略 図	員 数	
		D端部	D連棟
補修塗料	—	1	—
【10-1】M12×82角根ボルト (ナット、平座金、ばね座金付)		22	11
【10-2】M10×50六角ボルト (フランジナット、平座金付)		6	6
【10-3】φ4×16ドリルネジ (ゴム付座金付)		45	40
【10-4】φ4×13座付きドリルネジ (10本入)		1	1
取付説明書〈D585〉	—	1	—

■梱包明細表(つづき)


【11】 縦樋セット

名 称	略 図	員 数
縦樋		1
ジャバラ・リング		1
ジャバラ止め ※ジャバラ・リングにセットされています		1
エルボ		1
落とし口		1
落とし口パッキン		1
サドル		2
サドル受け		2
サドルスペーサー		2
接着剤		1
安全キャップ		3
【11-1】φ4×30ドリルネジ		3
【11-2】φ4×16ドリルネジ		3


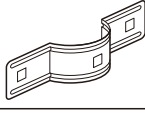
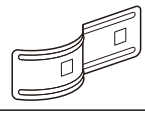

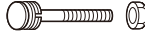

【12】 背面パネル

名 称	略 図	員 数
背面パネル		1

【13】 側面パネル

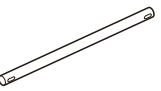
名 称	略 図	員 数
側面パネル		1

【14】 背面パネル金具

名 称	略 図	員 数	
		端部	中間
コーナー金具		4	—
背面金具		—	2
端末金具		4	—
めかくしキャップ		8	—
【14-1】M12×82角根ボルト (ナット、平座金、ばね座金付)		8	2
【14-2】M8×33角根丸頭ボルト (ナット、平座金、ばね座金付)		12	4




【15】 車止めパイプ

オプション

名 称	略 図	員 数
車止めパイプ		1

【16】 車止め部品セット

オプション

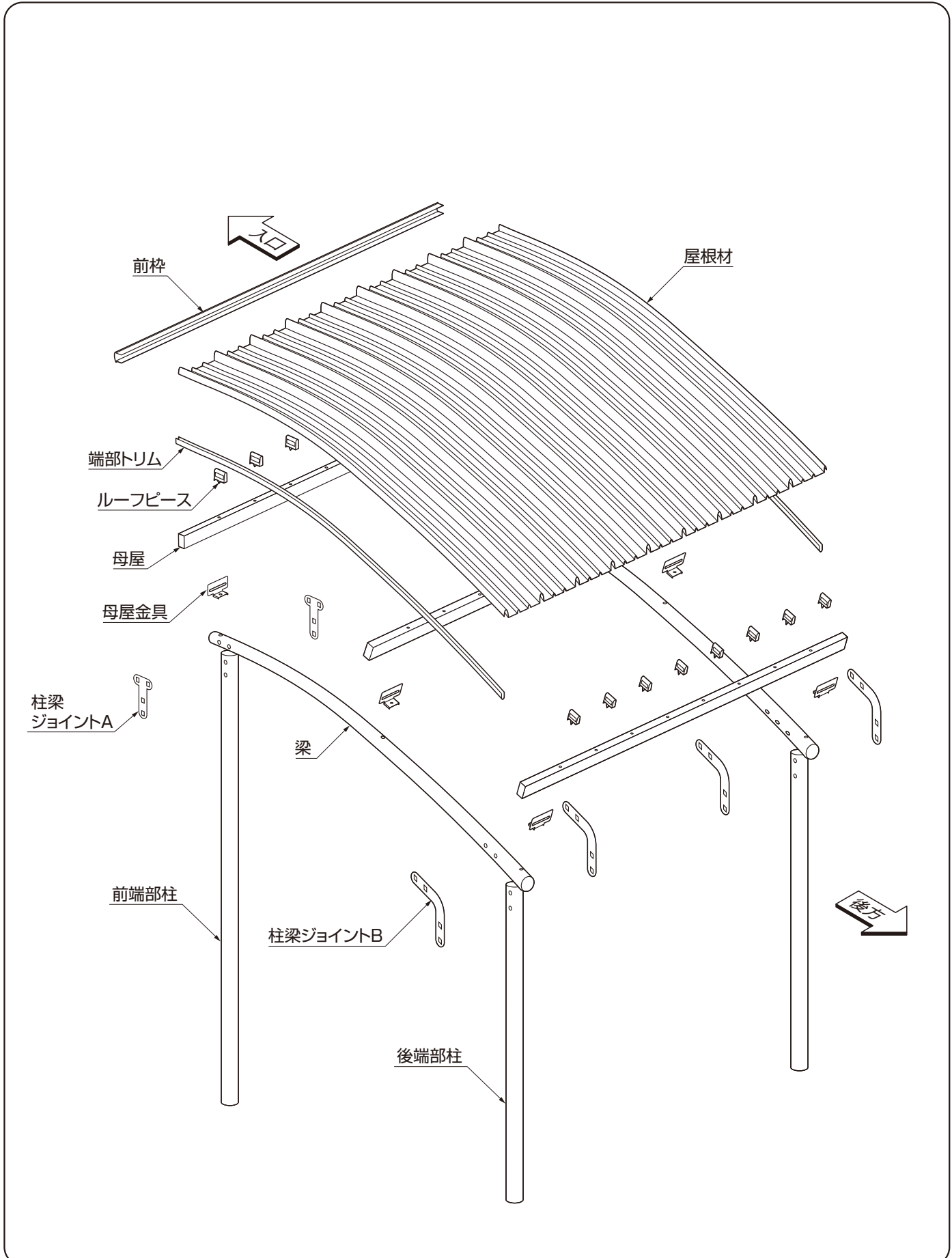
名 称	略 図	員 数	
		端部	中間
PU金具		2	2
【16-1】M12×65角根ボルト (ナット、平座金、ばね座金付)		2	2
【16-2】M12×90六角ボルト (ナット、平座金×2、ばね座金付)		2	1

【17】 照明灯

オプション

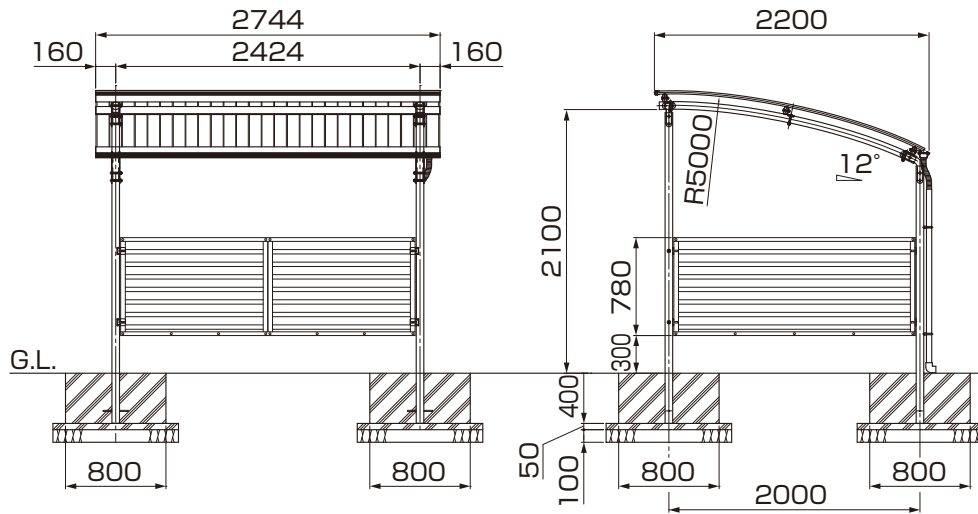
名 称	略 図	員 数
照明	—	1

1. 各部名称

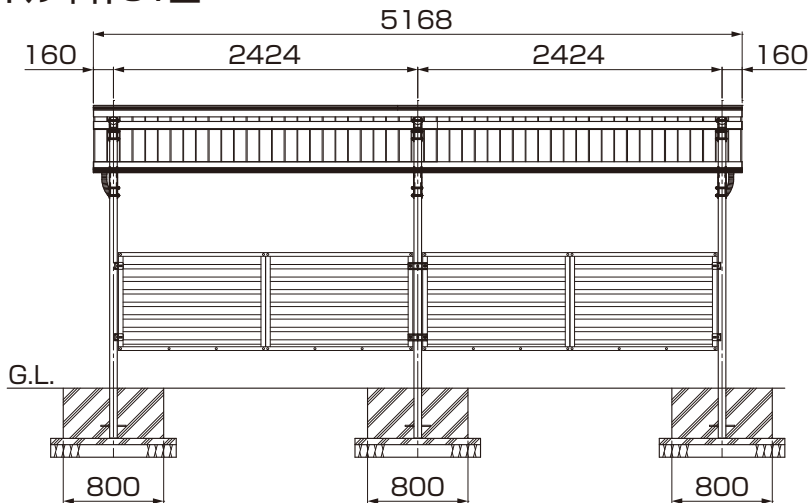


2. 基本寸法図

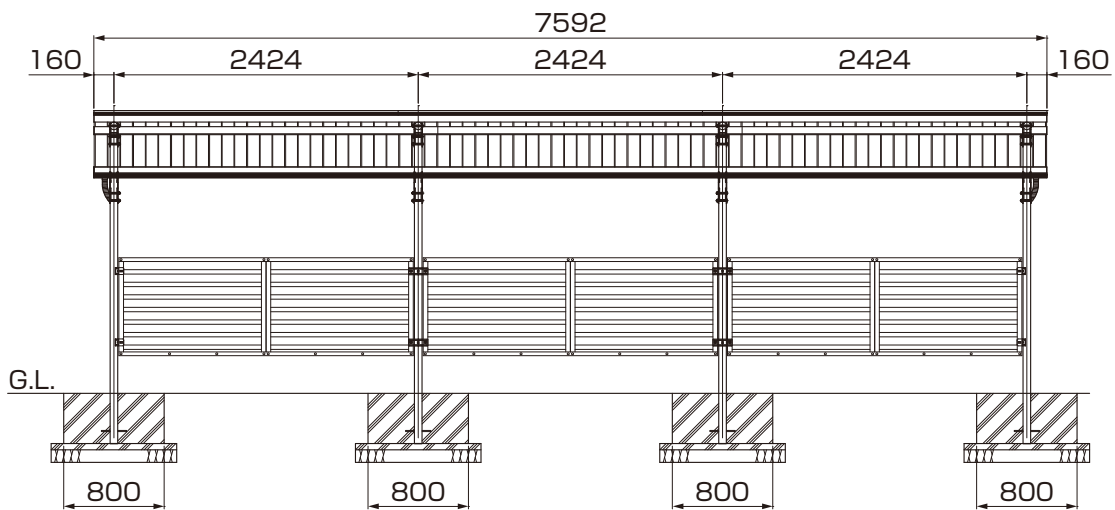
2-1 背側面パネル単体27型



2-2 背側面パネル単体51型



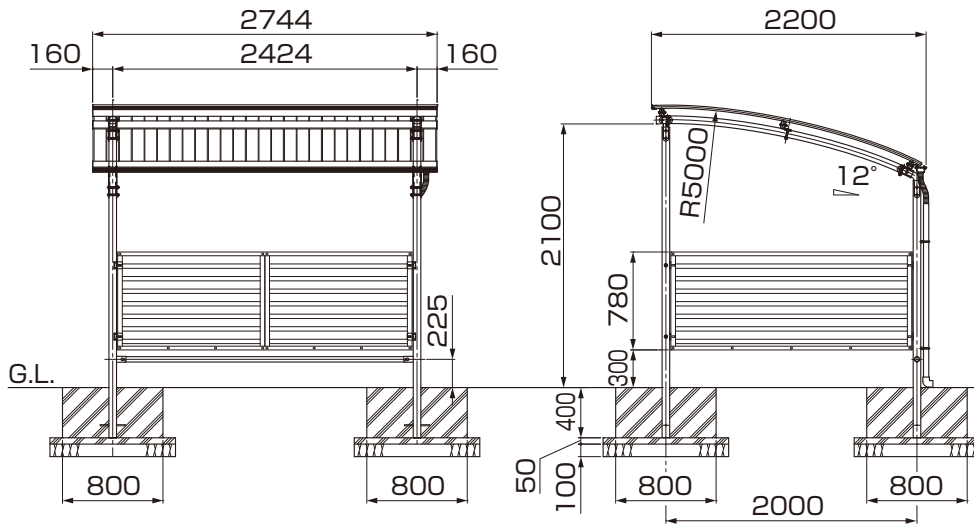
2-3 背側面パネル連棟(51+24×1)型



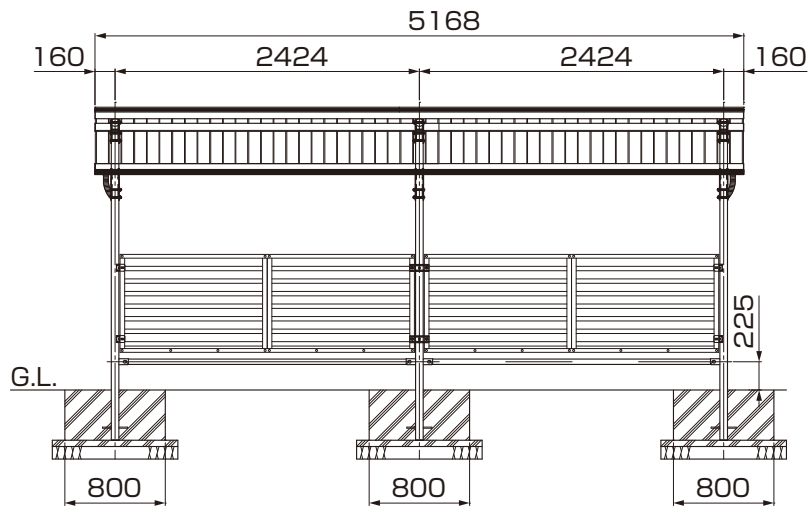
補足

●基礎は基準風速 34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度 50kN/m² 時の参考寸法です。

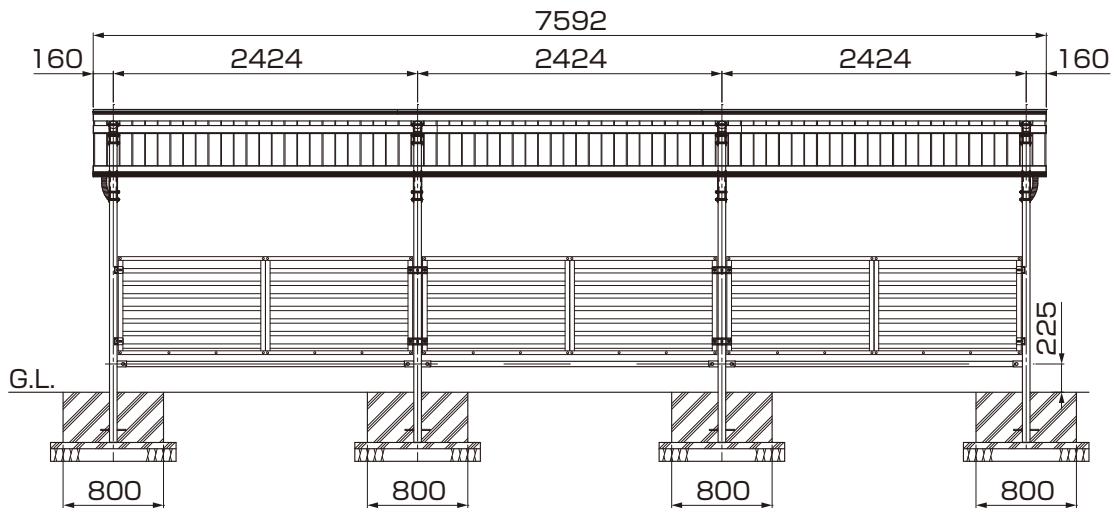
2-4 背側面パネル+車止め単体27型



2-5 背側面パネル+車止め単体51型

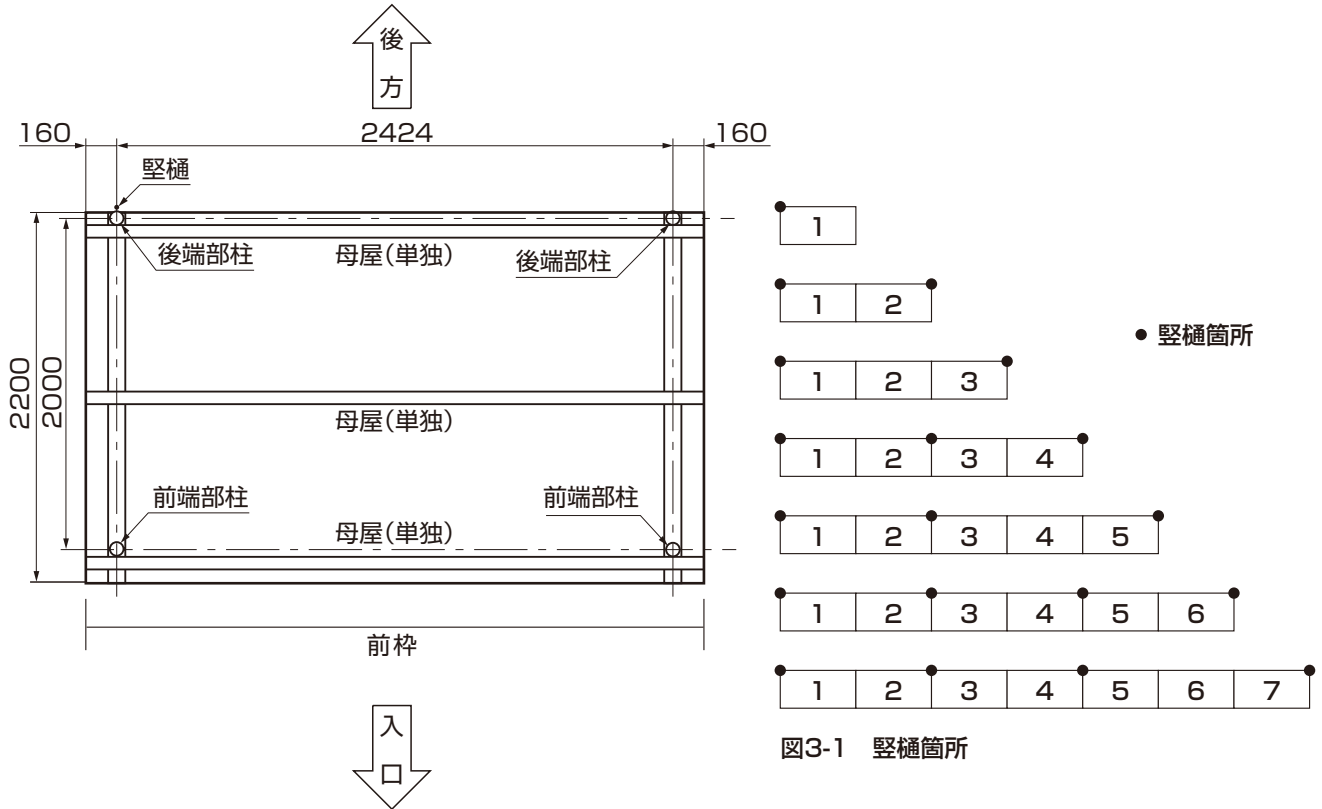


2-6 背側面パネル+車止め連棟(51+24×1)型

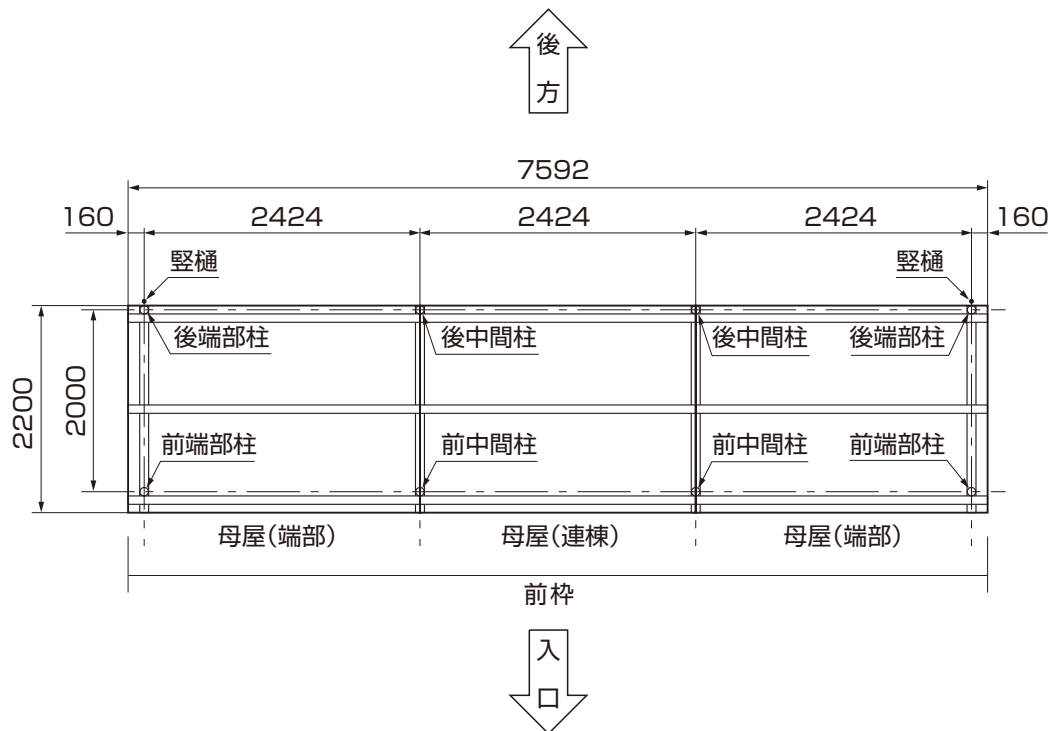


3. 割付図

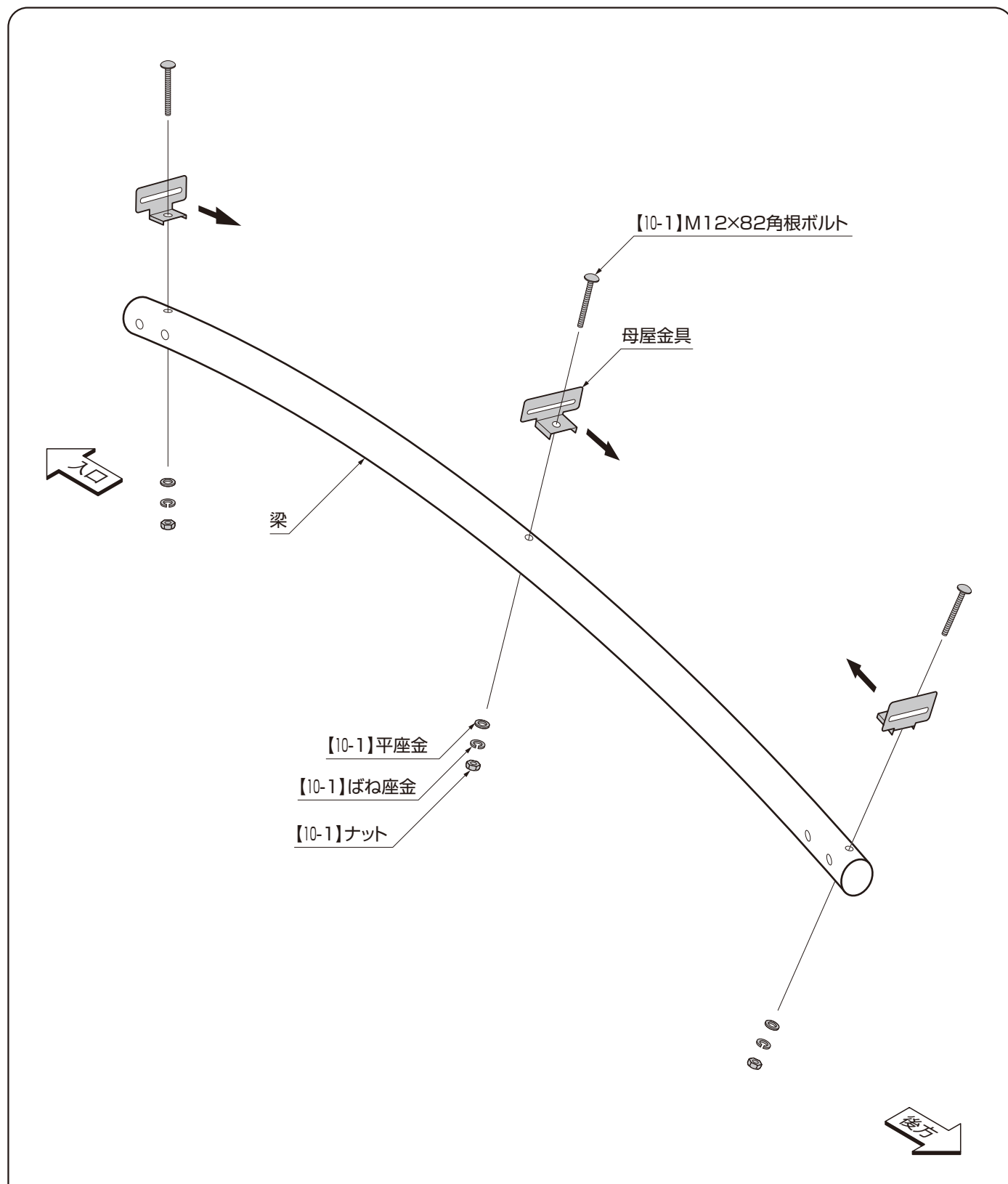
3-1 1スパンの場合



3-2 多スパンの場合



4. 母屋金具の取付け

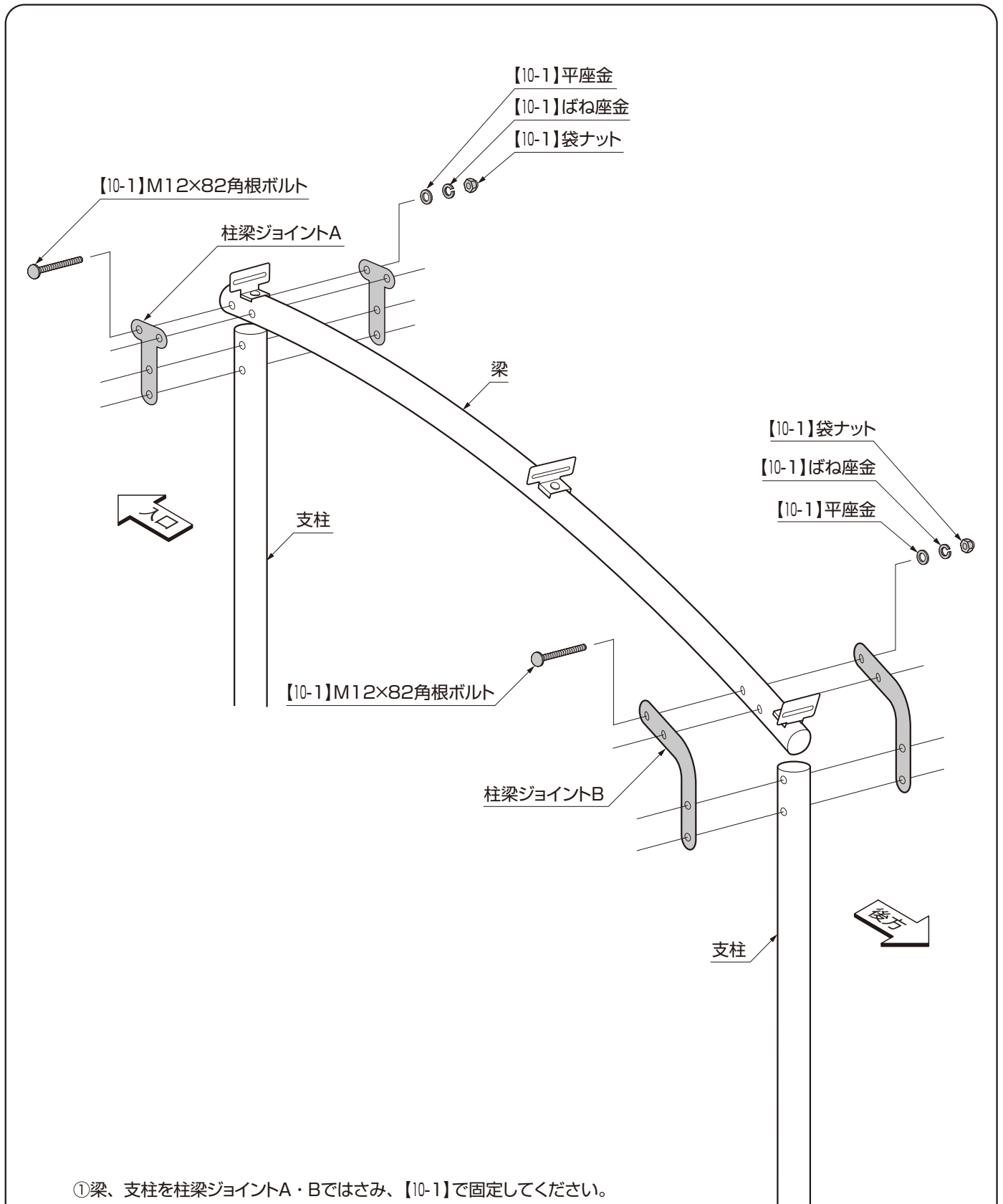


① 梁に母屋金具を3カ所、【10-1】で取付けてください。

ポイント

- 母屋金具には、取付ける方向があります。図のように、間違いのないよう正しく取付けてください。
- 母屋金具は、梁と支柱を組み立てる前に取付けてください。支柱を組み立てた後では取付けができなくなります。

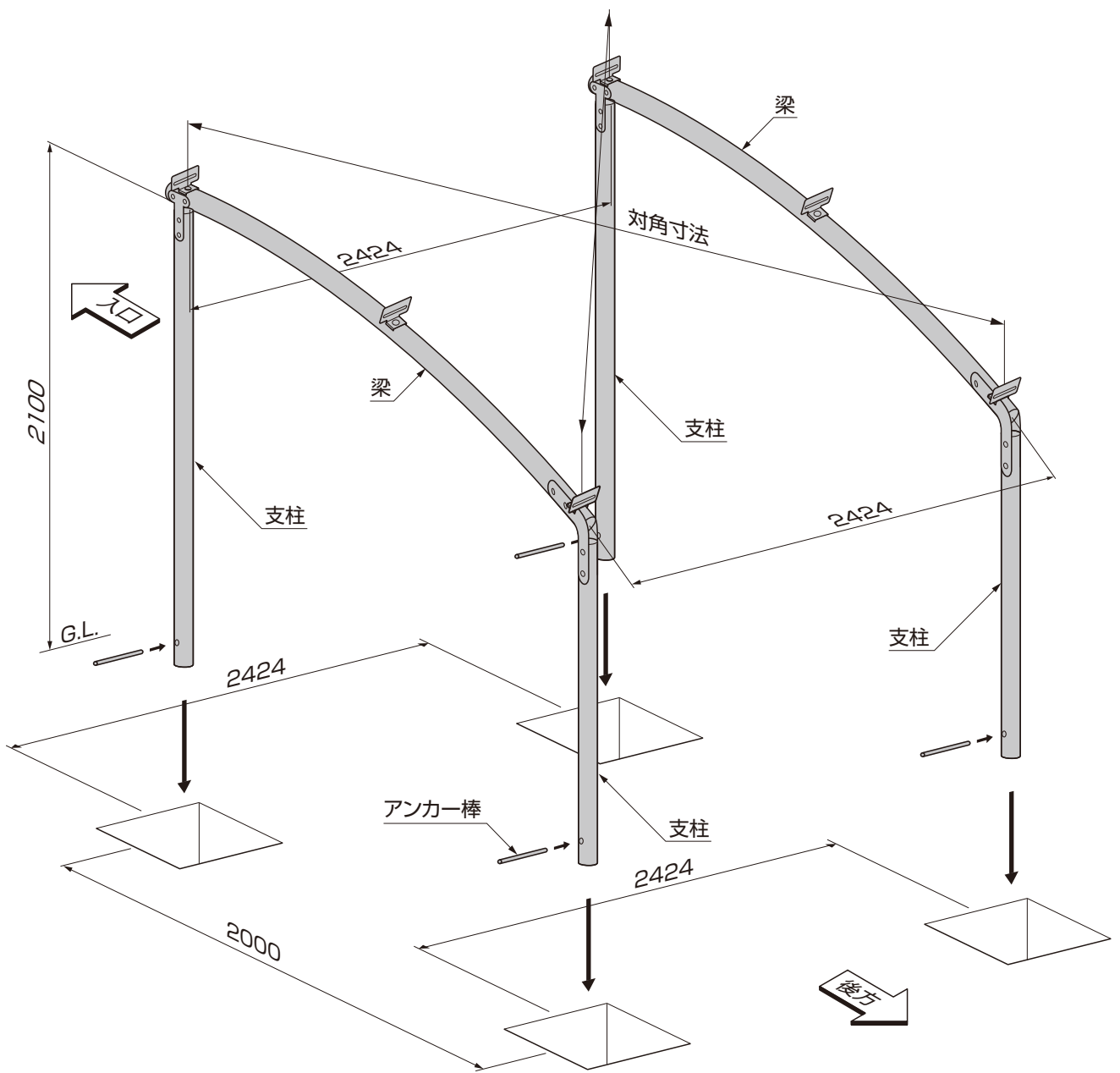
5. 柱と梁の取付け



① 梁、支柱を柱梁ジョイントA・Bではさみ、【10-1】で固定してください。

ポイント

- 支柱には、種類があります。背側面パネル仕様の際は、先にP.22「12. 背側面パネル取付け 12-1 背側面パネル取付詳細図(2スパン)」の取付詳細図をご確認ください。

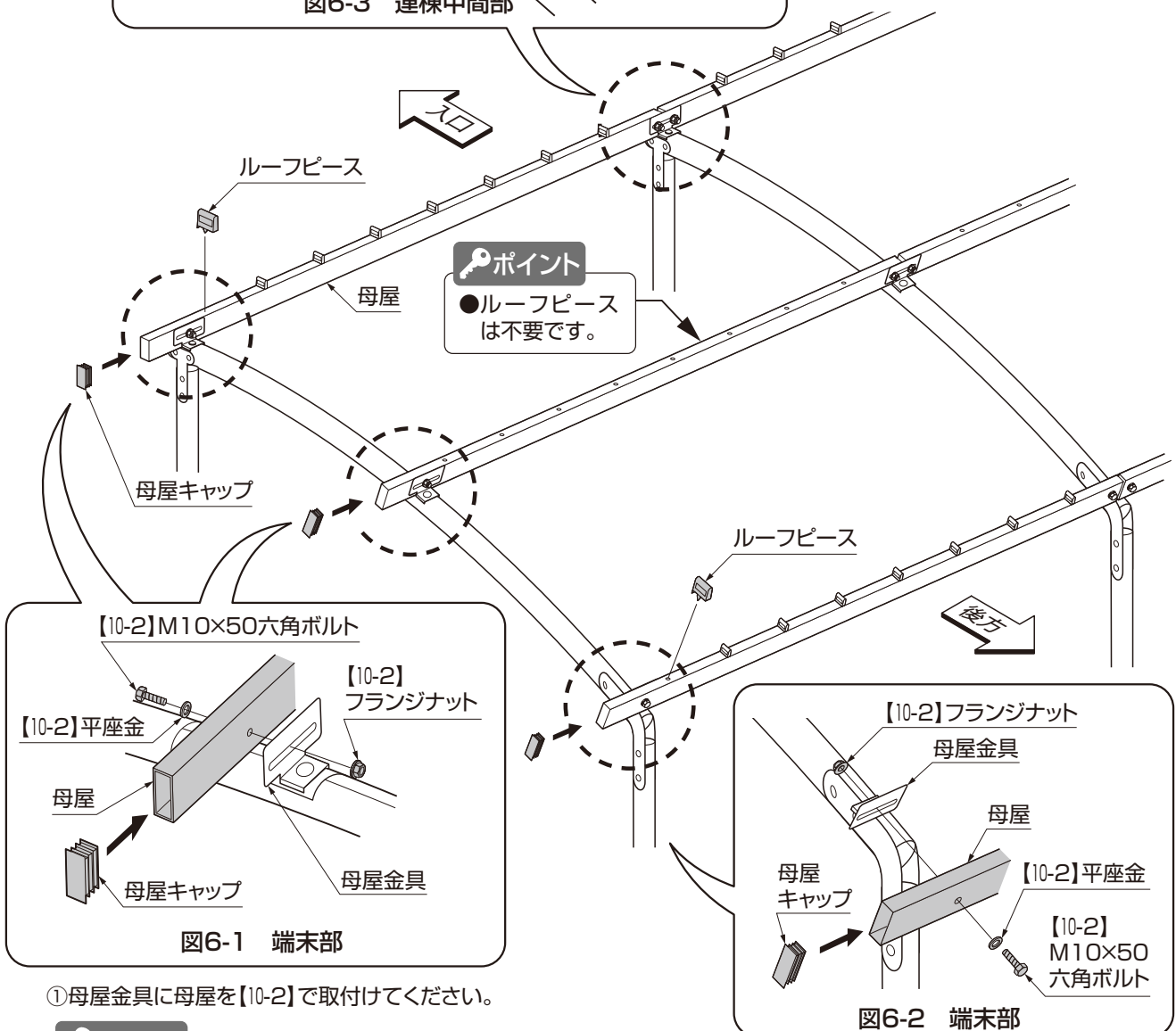
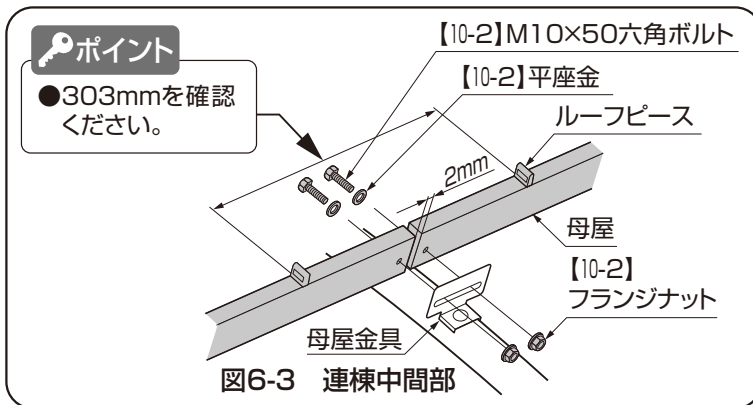


②組み立てた支柱の基礎埋込部にアンカー棒を挿入し、基礎に支柱を埋め込み、コンクリートで固定してください。またこの時、支柱の垂直および柱間ピッチ、梁先端ピッチ、軒先(入口)部高さ、対角寸法が揃うように調整してください。

注意

●基礎コンクリートが固まるまで支柱が倒れないように添木などを施してください。

6. 母屋の取付け



①母屋金具に母屋を【10-2】で取付けてください。

ポイント

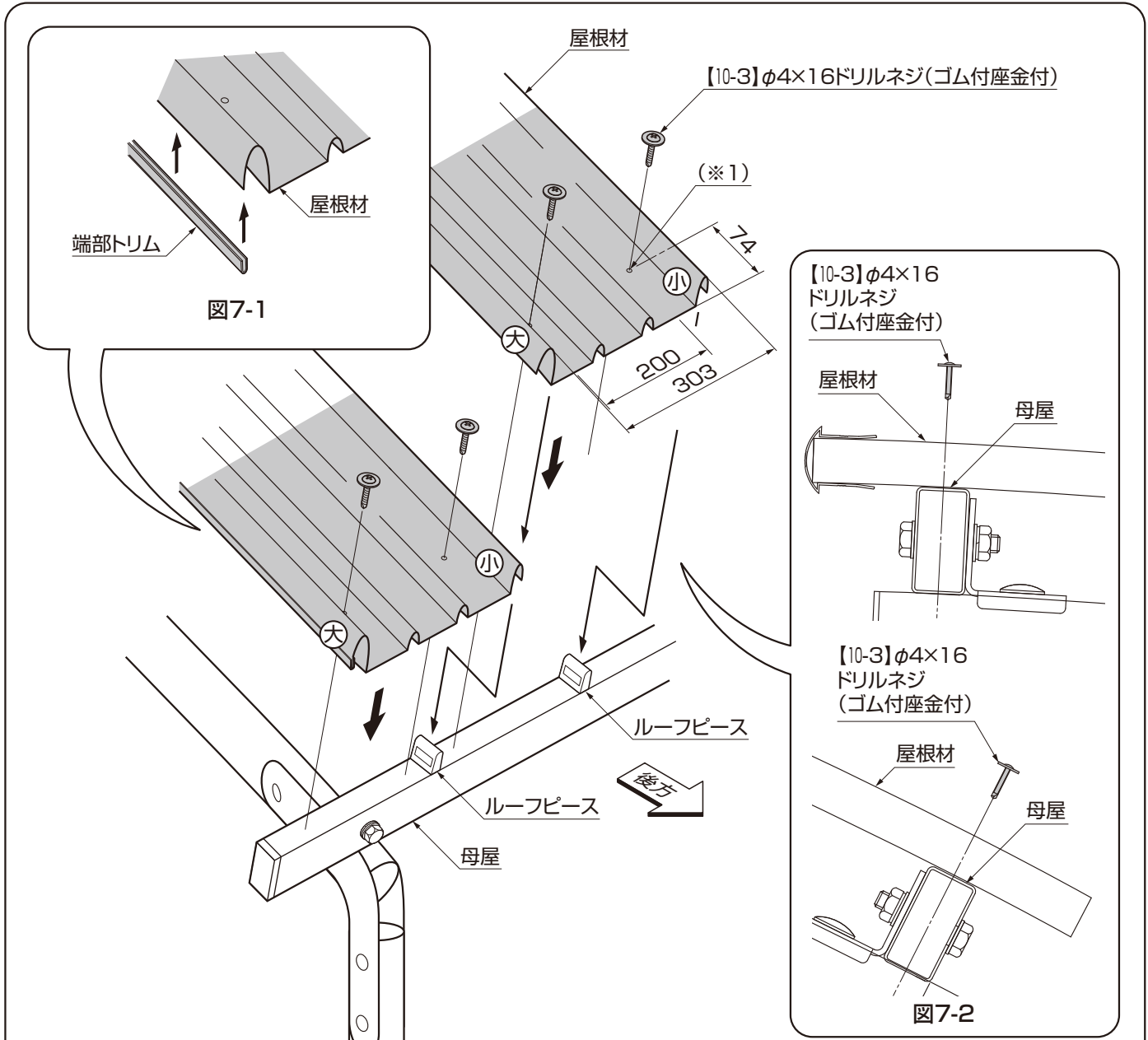
- 母屋はルーフピース取付け穴がある面を上にしてください。
- ナットはフランジナットを使用してください。(図6-1、図6-2、図6-3参照)

②入口・後方の母屋にルーフピースを差込み、端部に母屋キャップをはめ込んでください。

ポイント

- ルーフピースは中間の母屋には使用しません。

7. 屋根材の取付け



- ① 端部に設置する屋根材には、設置する前に端部側のエッジに端部トリムを取付けてください。余長はニッパでカットしてください。(図7-1参照)
- ② 1枚目(端部)の屋根材のリブ小をルーフピースに合わせて設置し、2枚目の屋根材のリブ大を1枚目の屋根材のリブ小に、反対側のリブ小をルーフピースに重ねて設置してください。
- ③ 母屋のセンターに合わせて【10-3】で屋根材を上下2本の母屋に固定してください。(図7-2参照)

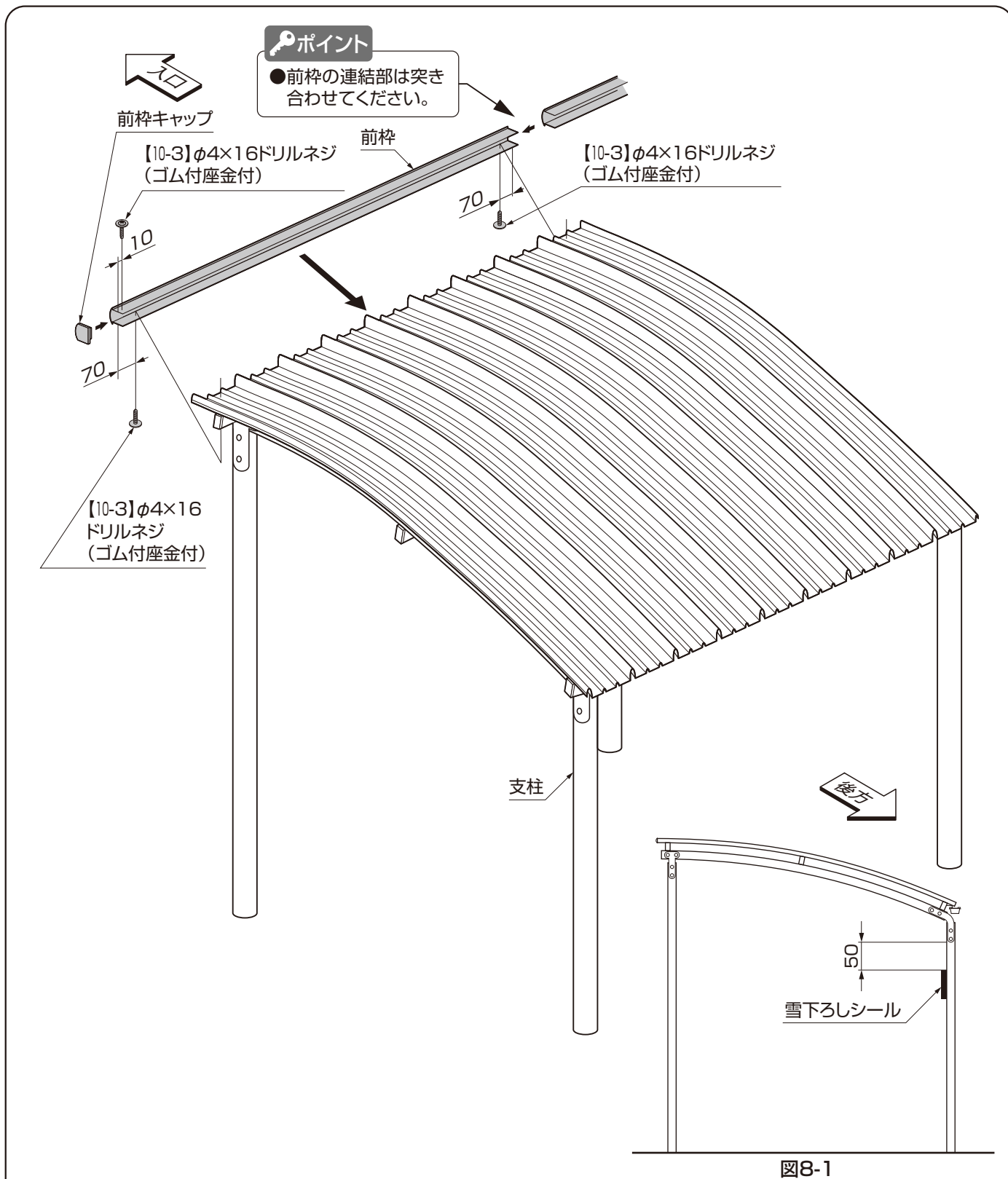
⚠ 警告

- 屋根の上に乗って施工はしないでください。屋根材が破損し、落下の危険性があります。

🔑 ポイント

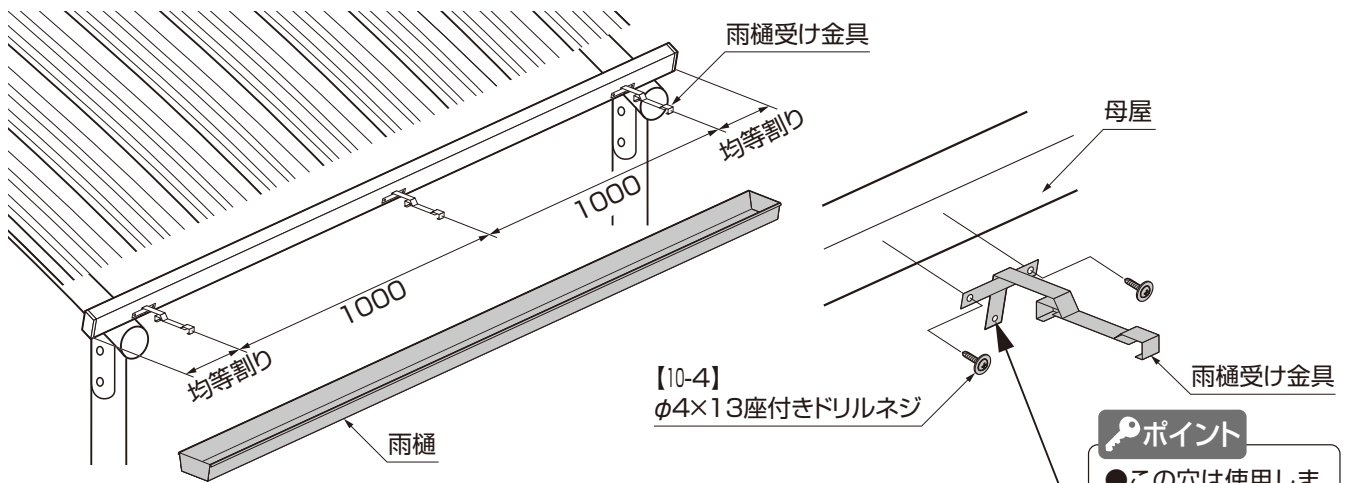
- 屋根材の両端のリブには大小があります。
- 屋根材の通りを出して固定してください。
- 屋根材には取付け用の下穴があいています。(※1)
- 屋根材を【10-3】で固定した時に出了る切り粉は施工後に必ずほうきなどで取りのぞいてください。もらいさびの原因になります。

8. 前枠の取付けと注意シールの貼付け



- ①前枠の端部に前枠キャップを取付けてください。取付けた前枠キャップは、端部より10mmの位置で前枠の上から【10-3】で固定してください。
- ②キャップを取付けた前枠を屋根材にはめ込み、端部より70mmの位置で下から【10-3】で固定してください。
- ③所定の位置に雪下ろしシールを貼ってください。(図8-1参照)

9. 雨樋の取付け



①雨樋受け金具を母屋の下面に合わせて【10-4】で取付けてください。

ポイント

- 雨樋受け金具は2カ所固定です。
- 雨樋受け金具の真ん中の穴は使用しません。

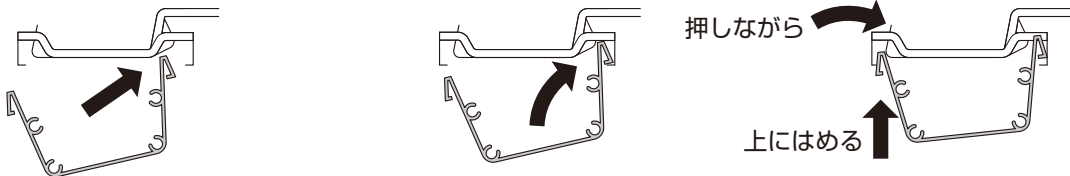
②排水する雨樋の半パンチを開けてください。

ポイント

- 排水箇所は P.10「3. 割付図」をご覧ください。

③雨樋を少し斜めにして奥側の金具に雨樋の片側をはめてください。

④パネを屋根側に押しながら雨樋を上に入れます。



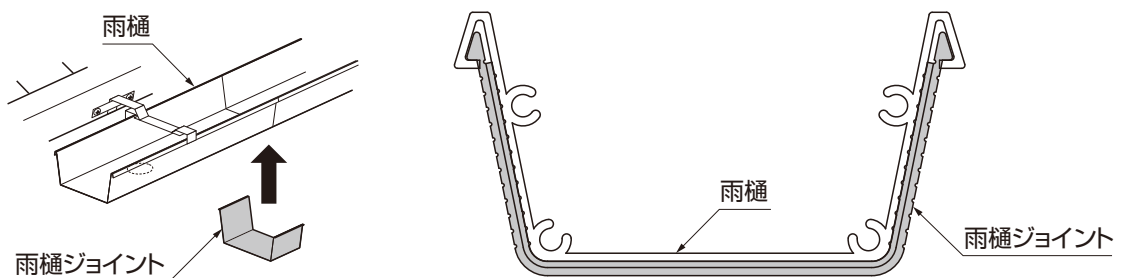
⑤両側の金具を内側に閉じる方向に押さえて金具を十分に閉じてください。



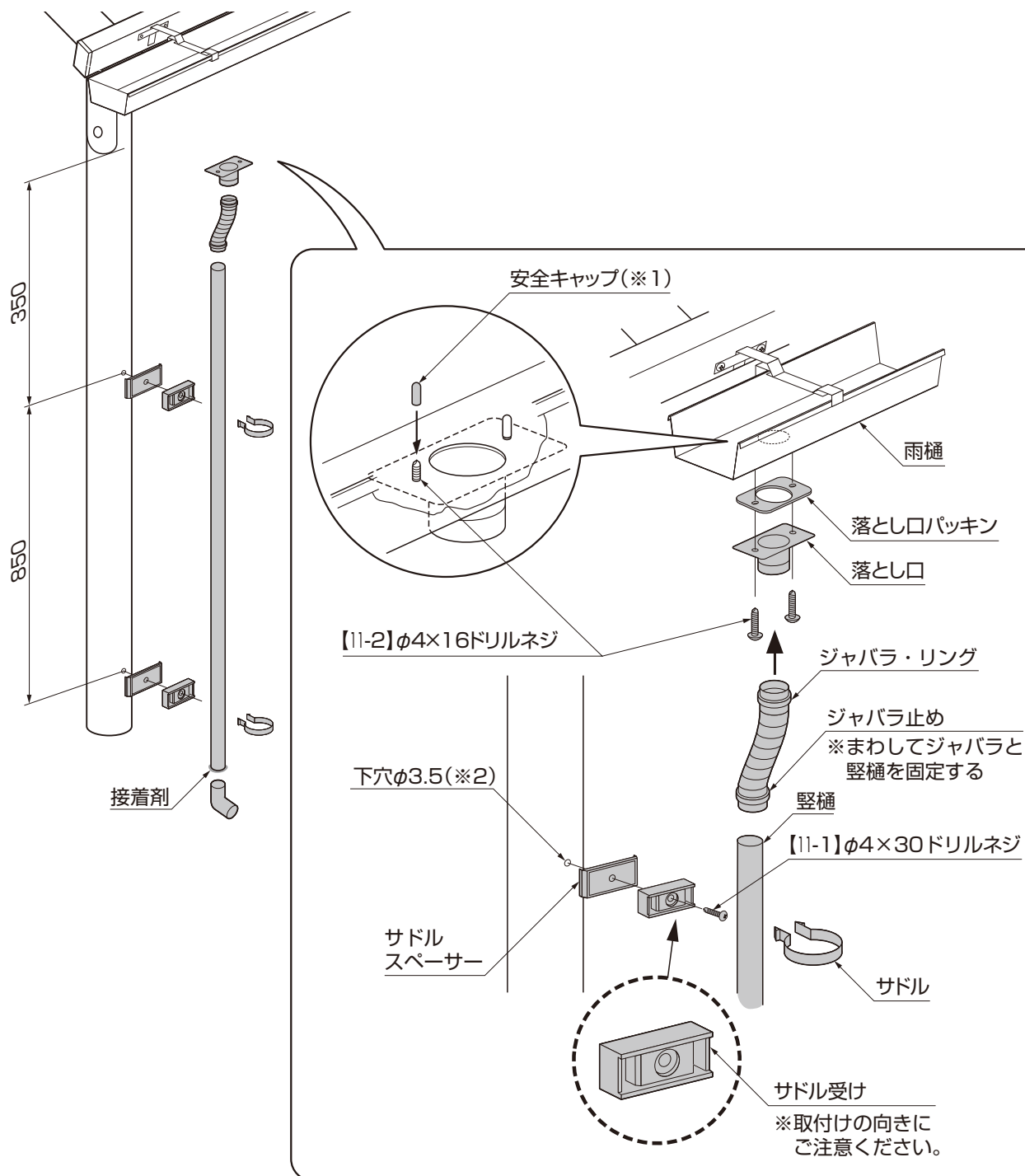
注意

- 雨樋と雨樋受け金具の勘合に不具合がありますと、雨樋の落下のおそれがあります。

⑥雨樋の連結には、雨樋ジョイントを下部よりはめ込んでください。



10. 縦樋の取付け

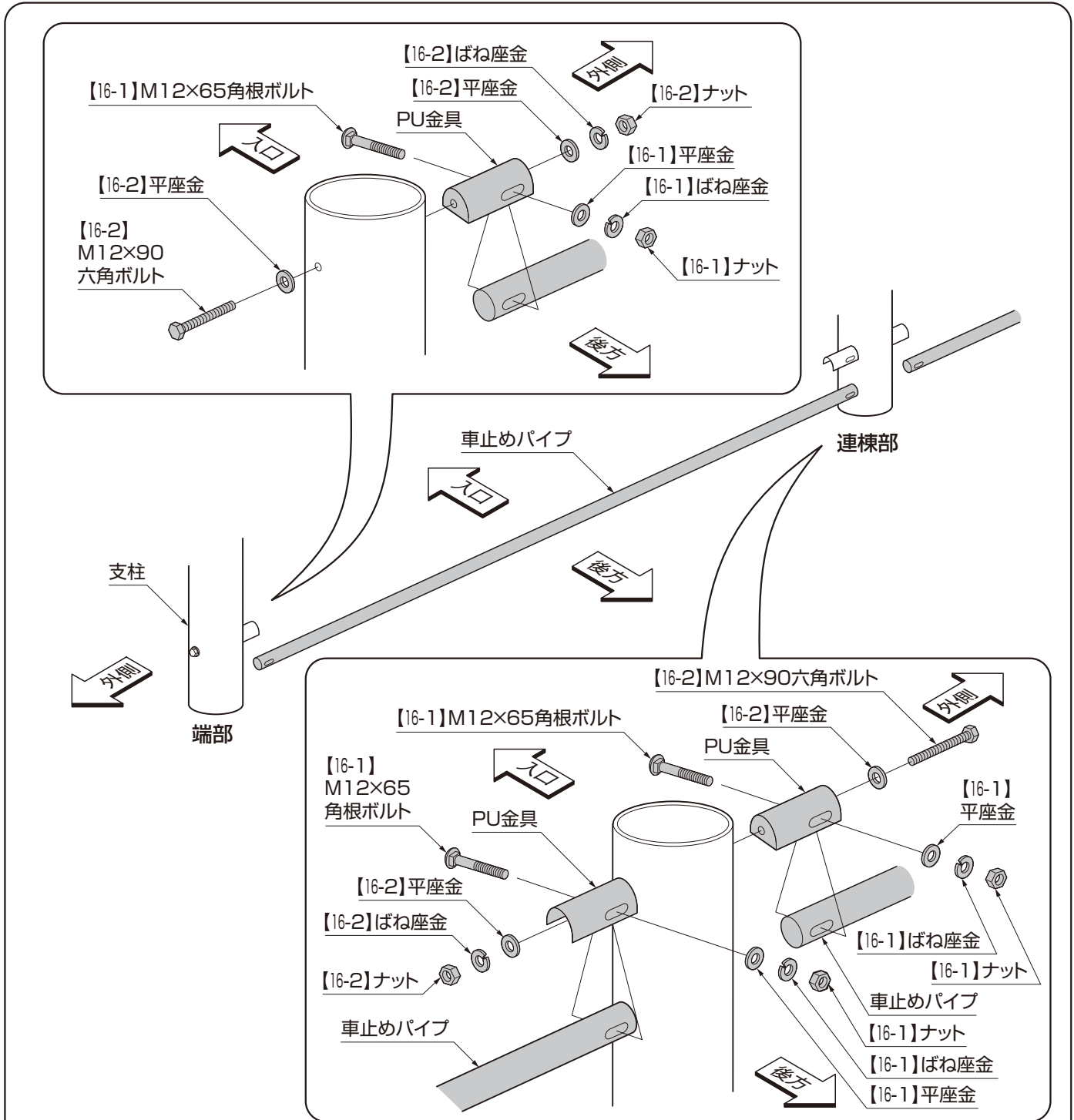


- ① 落とし口に落とし口パッキンを貼り付け、雨樋に【11-2】で取付けてください。
- ② 落とし口を取付けた【11-2】の先端に安全キャップを取付けてください。(※1)
- ③ 支柱に下穴を開け、サドルスペーサー、サドル受けを【11-1】で取付けてください。(※2)
- ④ エルボ、縦樋を組立て、サドルで固定してください。

補足

- 縦樋は現場で任意の長さに切断してください。

11. 車止めの取付け **オプション**



①支柱にPU金具を【16-2】で固定してください。

ポイント

●端部は外側から【16-2】を支柱に差し込んでください。

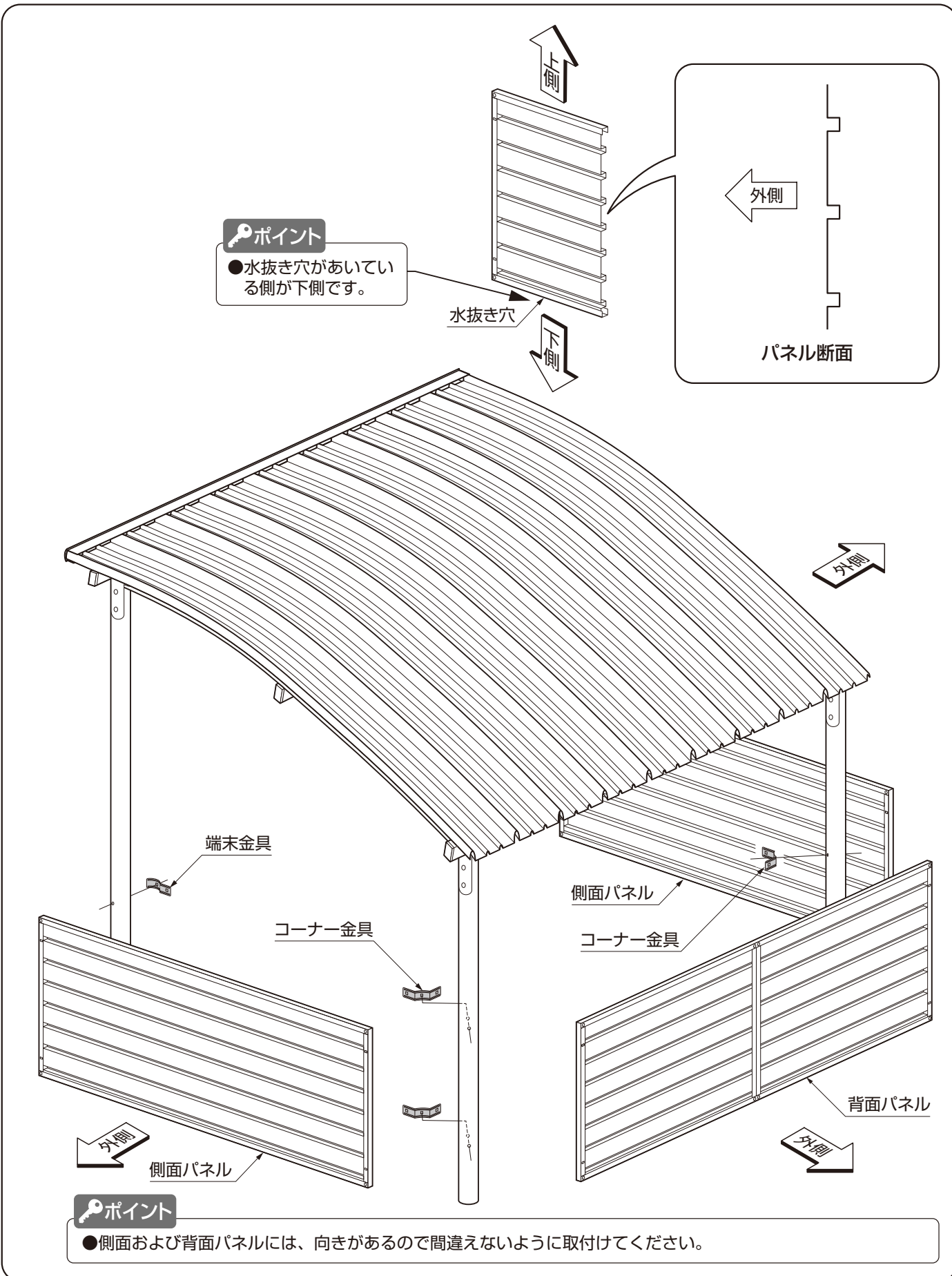
②車止めパイプをPU金具の下から差し込んで【16-1】で固定してください。

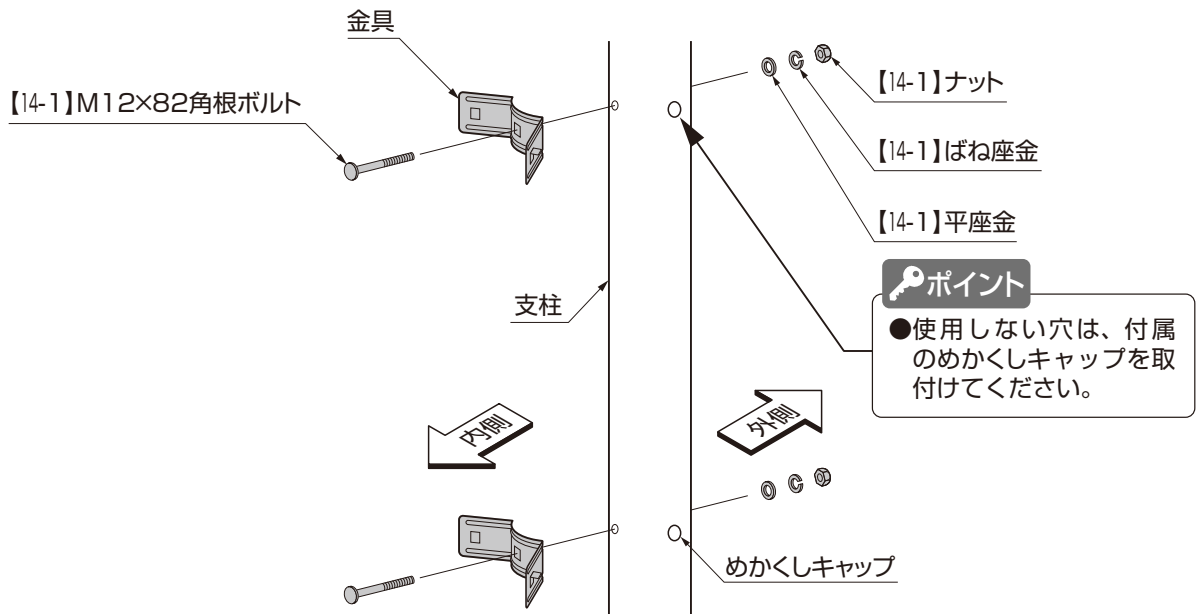
ポイント

●パイプを金具に差し込む時、少し堅いので注意してください。

●【16-1】は入口側から差し込んでください。

12. 背側面パネルの取付け

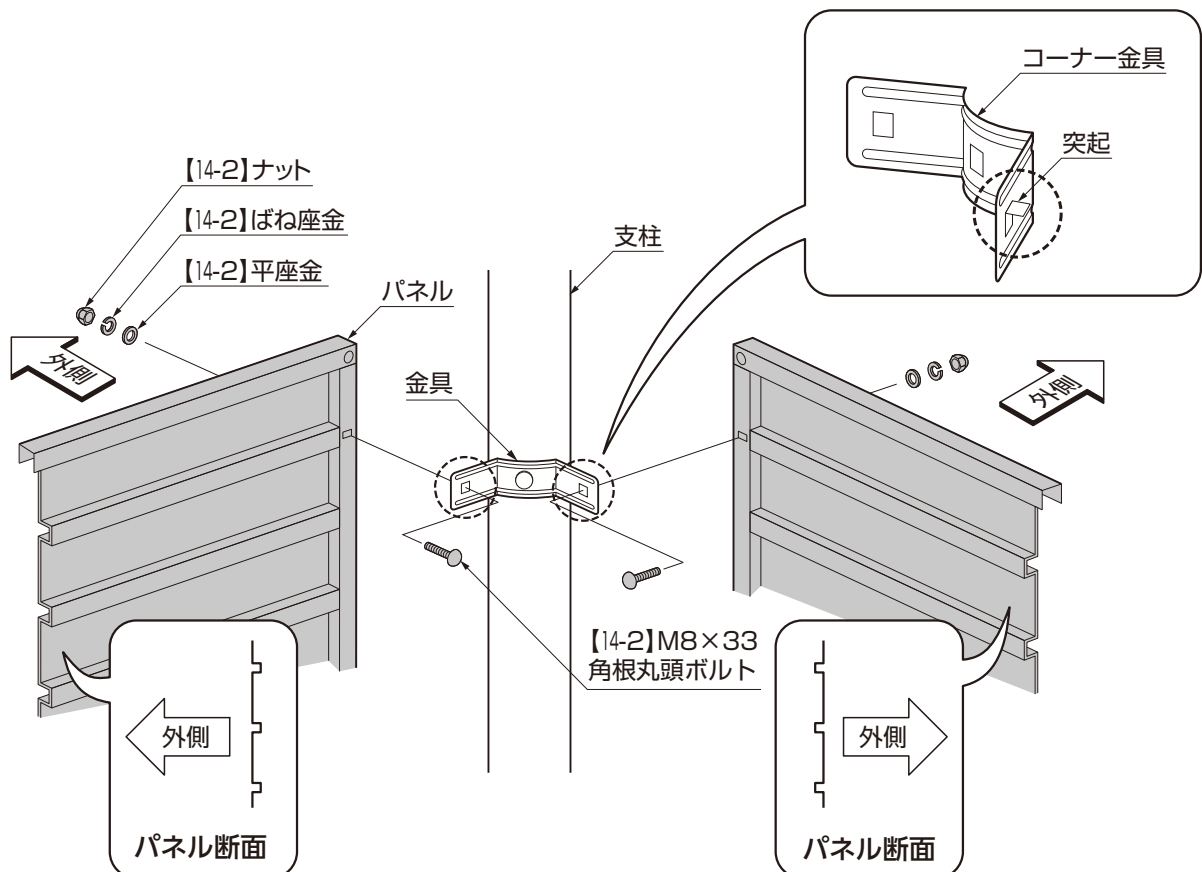




①柱1本につき2カ所、内側から金具を【14-1】で取付けてください。

ポイント

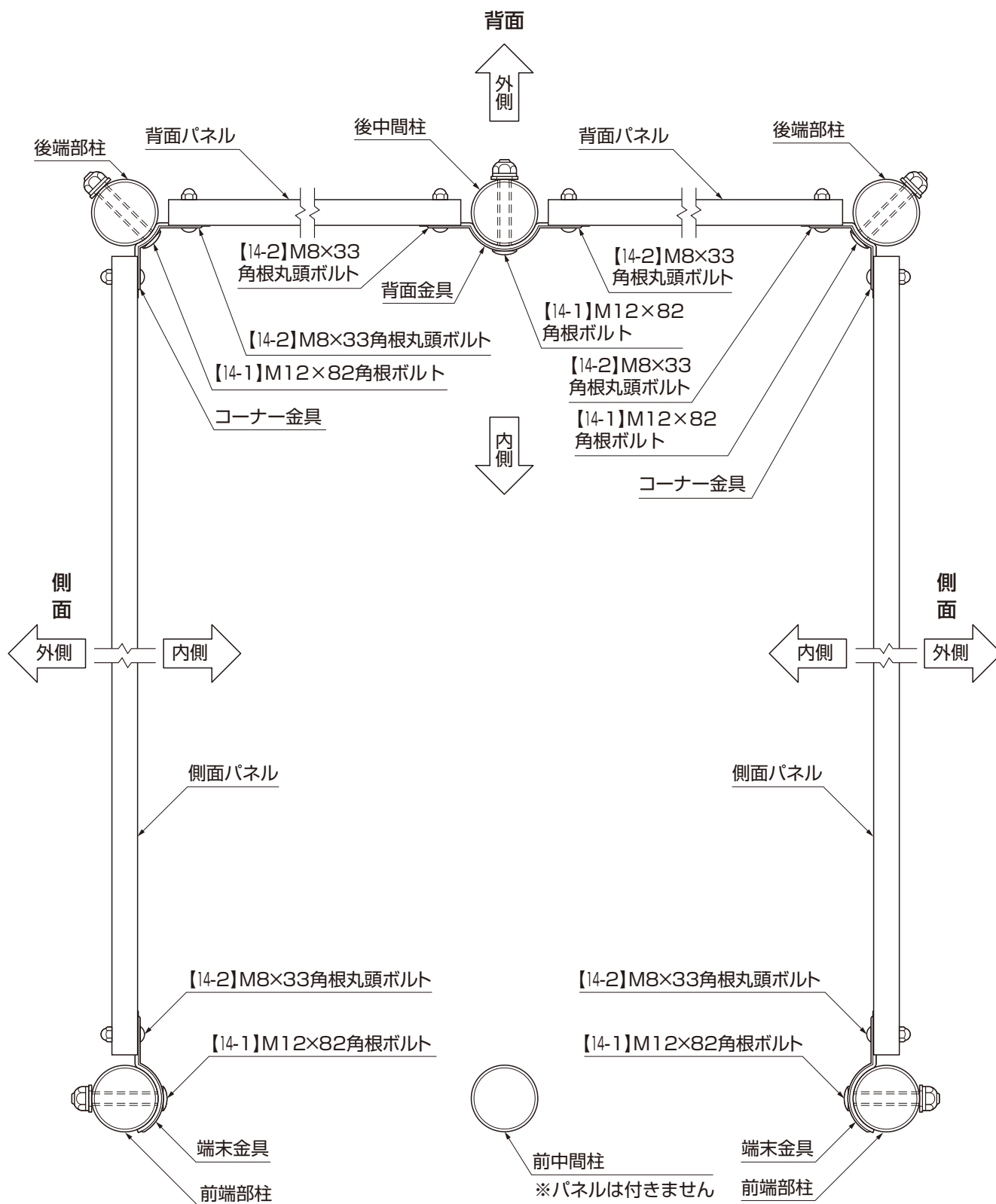
●金具の取付け位置と種類は、P.22～23「12. 背側面パネル取付け」12-1「背側面パネル取付詳細図(2スパン)～12-4「端末金具」を参照してください。



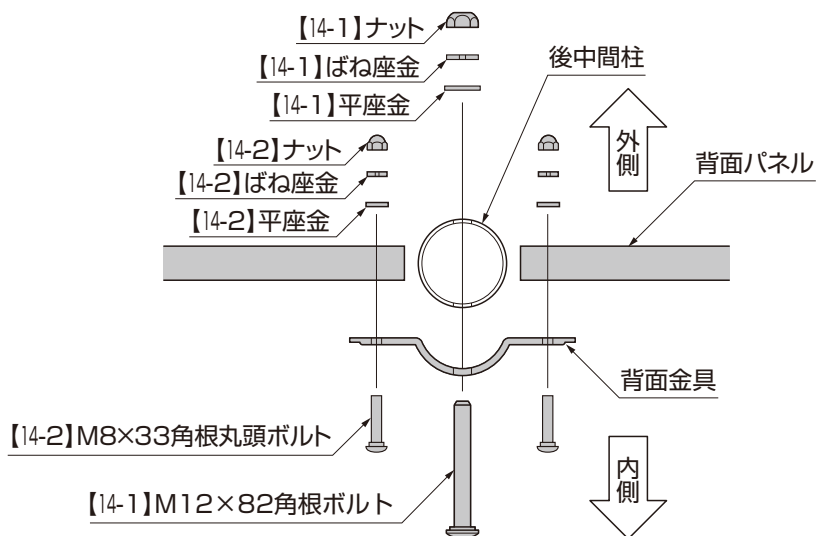
②金具の突起にパネルの取付け穴を引っ掛けて仮置きし、【14-2】で固定してください。

12. 背側面パネルの取付け(つづき)

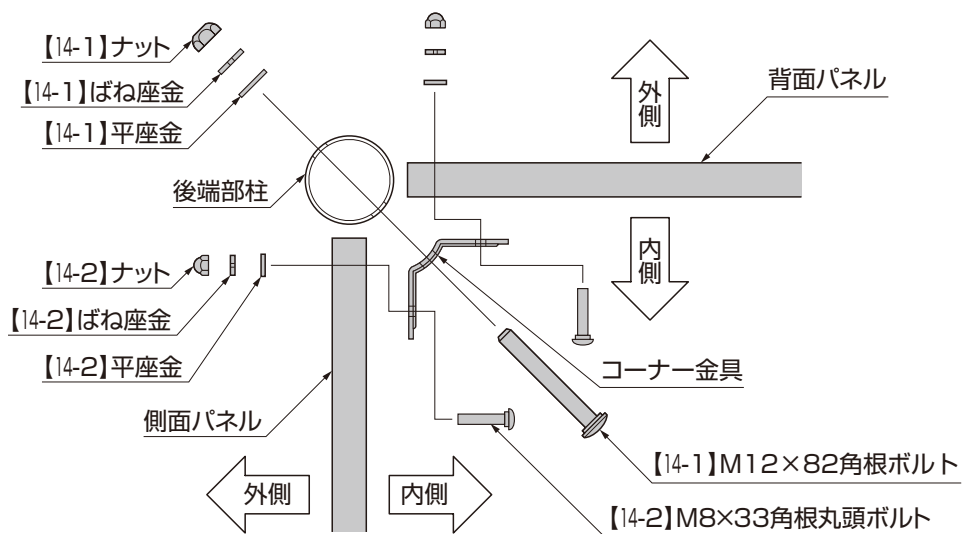
12-1 背側面パネル取付詳細図(2スパン)



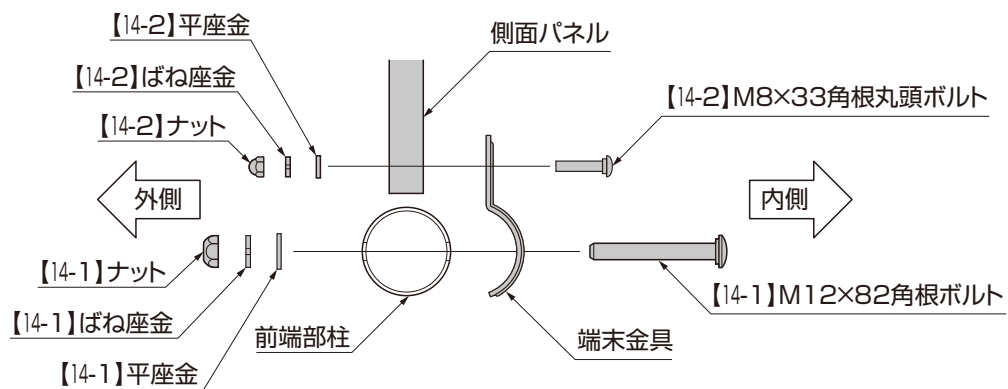
12-2 背面金具 ※2スパン以上設置するとき必要となります。



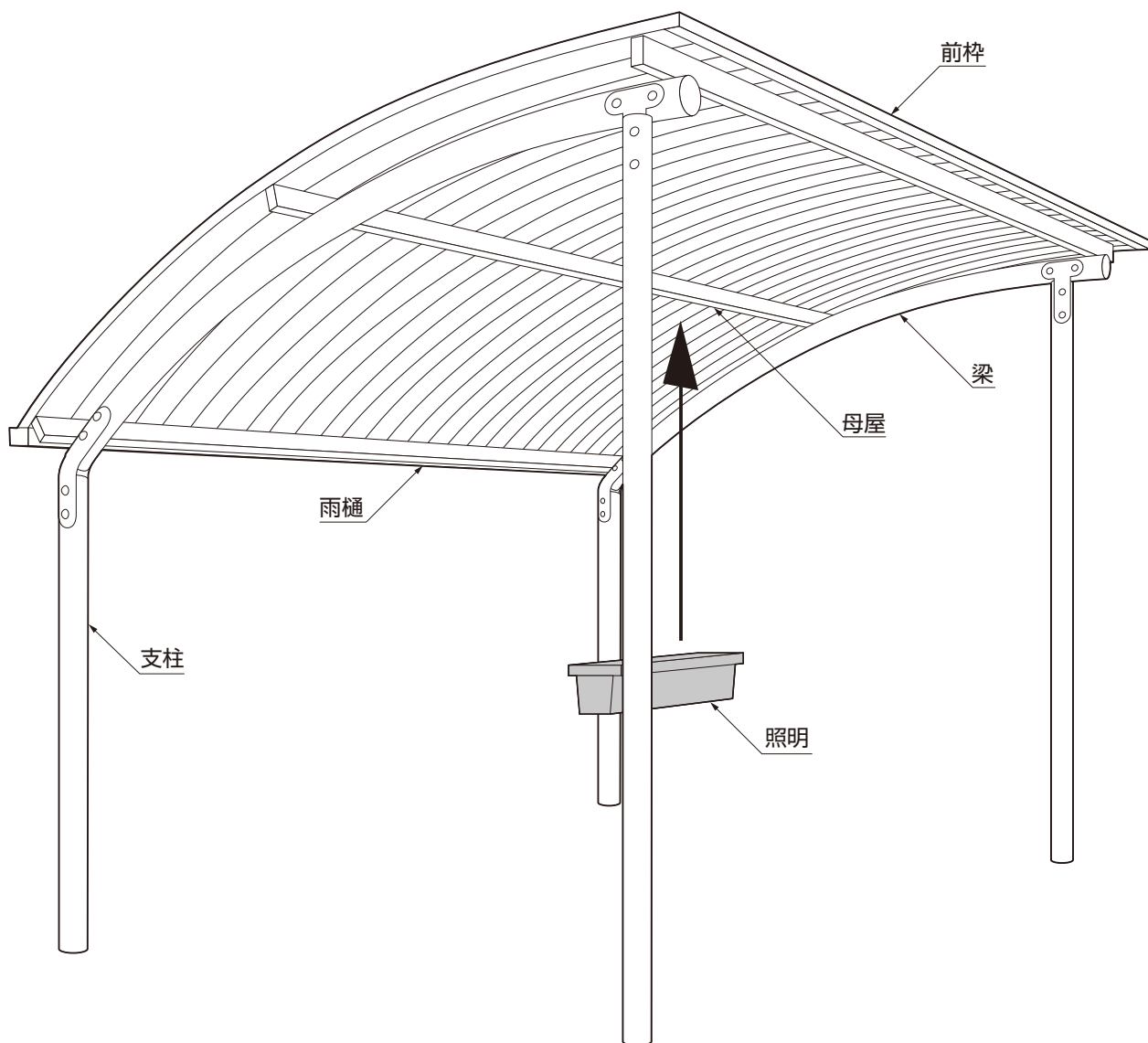
12-3 コーナー金具



12-4 端末金具



13. 照明の取付け **オプション**



ポイント

- 照明の取付け位置は推奨です。
- 照明の取付け、配線方法は、照明に同梱されている説明書を参照してください。

取説コード

D585

JZZ628955A
201405A_1041
201607B_1039